

令和4年度森林環境譲与税使途実績一覧

(単位：千円)

| 事業名 | 事業内容 | 事業総額 | 森林環境譲与税充当額 | その他財源 |
|--------------|--|---------|------------|---------|
| 森林経営管理事業 | 森林経営管理制度に基づく意向調査書の郵送料や森林経営管理制度支援システムの保守業務委託等 | 499 | 499 | 0 |
| 森の未来づくり事業 | 山に伐り置きされている間伐材を山主や地域の方が山から運び出して有効利用する「木の駅プロジェクト」の運営費補助を始め、搬出間伐の運搬費用の補助などの支援策の実施のほか、地域材の利用のPR活動を実施。 | 2,056 | 1,836 | 220 |
| 雁峰山整備事業 | 未整備森林を林小班単位で団地化し、森林整備を進めるための測量業務。 | 10,611 | 10,611 | 0 |
| 市単独林道事業 | 林業の活性化と森林整備の推進を図るため、官民共同により林道、作業道施設の維持管理を行うにあたり必要な建設機械等の借上、原材料の支給及び路線修繕等の費用。 | 28,732 | 28,732 | 0 |
| 新城木育プロジェクト事業 | 小学生を対象に、市有林をフィールドとした森林教室を市内5校で開催をする委託等。 | 487 | 487 | 0 |
| 鳳来総合支所整備事業 | 鳳来総合支所建設工事費のうち、木材を利用した経費。 | 945,406 | 50,974 | 894,432 |
| 湯谷温泉配湯事業 | 湯谷温泉薪ボイラー施設で利用する、地域材による薪生産及び薪ボイラー運営業務。 | 58,119 | 19,094 | 39,025 |
| 創造の森等維持管理事業 | 森林を身近に感じ、親しみの持てる散策の場として整備された「創造の森」の中にある倒木の危険のある樹木を伐採整備する費用。 | 2,114 | 1,870 | 244 |
| 中学校管理事業 | 中学校の普通教室の床、及び体育館ステージ修繕工事のうち木材を使用した修繕工事を実施する費用。 | 3,482 | 3,482 | 0 |
| 森づくり基金積立事業 | 令和5年度以降市主体の森林整備に関わる事業を実施するための基金積立金。 | 9,949 | 9,949 | 0 |

* 令和4年度森林環境譲与額：99,170千円

- 新城市では、市内全域の林業に適した森林を優先的に選び、森林経営管理制度に基づき森林整備を進める方針。
- 令和2年度に導入をした森林経営管理制度支援システムを活用し、令和4年度においては、以下の取組を実施。
 - ・ 意向調査204haを実施した。
 - ・ 地元説明会を1回開催した。
- 令和5年度においては、令和3年度の意向調査の結果から、経営管理権集積計画の作成に向けて順次調整を進める。

□ 事業内容

1 意向調査

- ・ 森林経営管理制度支援システムを活用し、林業に適した森林2団地を選定した。新城林務課、新城森林組合、林業事業体を交えた適地選定会を実施し、1団地を選定した。
- ・ 選定団地に対し事業説明会を開催し意向調査を実施した。

【事業費】160千円（うち譲与税160千円）

【実績】意向調査面積 204ha
事業説明会 1回実施



（事業1：説明会の様子）

□ 事業スキーム

1 意向調査



□ 工夫・留意した点

- ・ 森林経営管理制度支援システムを活用し、施業履歴を始めとした市内の森林の情報をシステムに入力し、見える化することで森林経営に適した森林をデータに基づいて抽出し候補地とした。
- ・ 愛知県、森林組合、林業事業体、市による適地選定会を実施し、多方面からの意見を交換することで、候補地についてさらに精査する機会を設けた。
- ・ 説明会の開催は、市外からの参加者のことも考え、日曜日の午後に開催をした。また、今回の対象地が1地区での開催であったため、上半期9月までに説明会を開催した。

◇ 基礎データ

| | |
|---------------|-----------|
| ①令和4年度譲与額 | 128,594千円 |
| ②私有林人工林面積（※1） | 26,214ha |
| ③林野率（※2） | 82.8% |
| ④人口（※3） | 44,355人 |
| ⑤林業就業者数（※4） | 155人 |

※1、2：「2020農林業センサス」より、※3：「R2国勢調査」より、
※4：「H27年国勢調査」より

- 旧鳳来総合支所庁舎（1970年建設）、旧開発センター（集会施設。74年建設）等の老朽化に伴う建て替え工事を行い、新鳳来総合支所庁舎は事務スペース（鳳来総合支所）と、多目的に使う市民の交流（集会）施設（市民センターほうらい）を一体化させた。
- 建設工事の財源として、森林環境譲与税を活用した。
- 防災拠点のため鉄骨造としているが、内・外装、窓口カウンター、記載台、ベンチ等には県産木材を優先使用した。

□ 事業内容

鳳来総合支所建設工事の概要

- ・ 工期 令和3年12月25日～令和5年2月28日（令和5年5月8日開所）
- ・ 施工 松井・鈴木特定建設工事共同企業体
- ・ 設計監理 株式会社浦野設計（名古屋市）
- ・ 譲与税は主に木工事の経費で算定し、特に天井及び壁のルーバー材が大きな割合を占めている。

【事業費】945,406千円（うち譲与税50,974千円）

【実績】建築規模等 鉄骨造平屋建て
 建築面積1,459.33㎡。延床面積1,348.62㎡
 駐車場75台（思いやり駐車場3台）



鳳来総合支所
（事務スペース）



市民センターほうらい
（ホール）

□ 工夫・留意した点

建設工事に係る特記仕様書への記載

- ・ 本工事に使用する資材等は、品質が規格値を満足しかつ価格が適正である場合には、県内産の優先使用に努める。
- ・ 本工事において愛知県内で産出された木材（愛知県内で産出された木材を使用した製材加工品を含む。以下「県産材」という。）を使用する場合は、愛知県産材認証機構に登録された認定事業者が「あいち認証材」として証明し、出荷したものとす。等

◇ 基礎データ

| | |
|---------------|-----------|
| ①令和4年度譲与額 | 128,594千円 |
| ②私有林人工林面積（※1） | 26,214ha |
| ③林野率（※2） | 82.8% |
| ④人口（※3） | 44,355人 |
| ⑤林業就業者数（※4） | 155人 |

※1、2：「2020農林業センサス」より、※3：「R2国勢調査」より、
 ※4：「H27年国勢調査」より